

第8回 下野市総合計画審議会会議録

日 時	平成19年10月24日(水) 午後1時から2時45分まで
場 所	下野市役所国分寺庁舎304会議室
出席委員	中村祐司会長、須藤勇委員、伊澤剛委員、野田善一委員、伊澤敬一郎委員、高田憲一委員、中島一成委員、柴山征吉委員、大島昌弘委員、倉井徳勇委員、吉崎賢介委員、岡田雅代委員、近藤由紀子委員、高山和典委員、石田文治委員、金子康法委員
欠席委員	早川進委員、長光博委員、小川榮一委員、加藤芳江委員、高山トミイ委員、大貫理委員
出席者	篠崎第一分野担当副市長、小口第二分野担当副市長、野口総務企画部長、諏訪市民生活部長、毛塚健康福祉部長、齋藤経済建設部長、川俣上下水道部長、中村議会事務局長、落合会計管理者、石田教育次長
事務局	(企画財政課) 篠崎課長、小口主幹兼課長補佐、長主幹、濱野副主幹、坂本主事
傍聴人	なし

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
- 4 閉会

会長挨拶

今回は、前回の審議会でご了承いただいた、国土利用計画下野市計画(素案)について、皆さんの自由なご意見を伺いたい。また、総合計画案等についてもご意見を伺いたい。宜しくお願いする。

議事

会議録署名委員の指名

(中村会長) 会議録署名委員は、高山和典委員と石田文治委員にお願いする。

1) 前回会議録の確認

(中村会長) 前回の審議会の会議録について、修正等があれば発言をお願いする。

- (岡田委員) 4ページ、私の意見で「自治基本条例のようなものは入っていないが、あえて入れなかったという理解でいいのか。」とあるが、「自治基本条例や環境基本条例のような政策条例は入っていないが、こうした条例は、あえて基本計画の段階では入れなかったという理解でいいのか。」と直していただきたい。また、同じページの下段の私の意見で、「事業計画の中できちんとやっていく」を「事業計画の中で政策条例についてはきちんとやっていく」に加筆修正をお願いする。加えて、「もうひとつ、見方なのだが、アンケートの中のまちづくりに対する満足度について、少し説明がわかりにくいと思う。」を、「もうひとつ、基本計画の見方なのだが、例えば22ページの満足度の文中で、まちなみ景観については今後の住民の自主的な活動を通じた景観づくりを支援するとあるが、下の施策事業内容にないのはどう理解したらよいか。」と修正していただきたい。
- (事務局) 後ほど確認させていただきたい。
- (中村会長) 確認をお願いする。他によろしいか。では、国土利用計画下野市計画素案について、事務局に資料の説明をお願いする。

2) 国土利用計画下野市計画(素案)について

- (事務局) 10月11日開催の総合計画策定委員会において作成した国土利用計画下野市計画(素案)について、本日、ご審議をお願いする。資料1をご覧ください。

国土利用計画下野市計画(素案)について説明(資料1)

- ・ 「前文」「1 下野市の概況」「2 土地利用に関する基本構想」「3 利用目的に応じた区分ごとの規模の目標」「4 本計画を達成するために必要な措置の概要」「資料編」という構成になっている。
- ・ 2ページの「前文」では、「(1) 計画の趣旨」「(2) 基準年次及び目標年次」が掲載されている。計画の趣旨では、策定の背景と内容などについてまとめてあり、基準年次は平成18年度、目標年次は総合計画と同じ27年度としている。
- ・ 3ページから4ページの「1 下野市の概況」では、「(1) 市の位置」「(2) 人口・世帯の推移と将来見通し」「(3) 経済動向」を掲載している。
- ・ 5ページ以降の「2 土地利用に関する基本構想」では、「(1) 土地利用の基本理念」「(2) 土地利用をめぐる全国的な情勢の変化」「(3) 下野市の土地利用をめぐる現状と課題」「(4) 土地利用の基本方針」を掲載している。そのうち、「(3) 下野市の土地利用をめぐる現状と課題」は、人口動向への適確な対応、既成市街地の有効活用、自然的土地利用の保全と有効活用、土地利用ごとの現状と課題となっており、では農地、森林、水面・河川・水路、道路、宅地、その他と分けてまとめてある。「(4) 土地利用の基本方針」についても、

- 農地、森林、水面・河川・水路、道路、宅地、その他と分けて記述している。
- ・ 9ページから「3 利用目的に応じた区分ごとの規模の目標」となっており、「(1) 利用目的に応じた区分ごとの規模の目標」として表にまとめてある。10ページ「(2) 地域別の概要」では、中央地域、東部地域、西部地域の3地域ごとに区分し、その概要と地域ごとの土地利用の方針をまとめてある。11ページは、それをまとめた土地利用構想図となっている。
 - ・ 12ページ以降は「4 本計画を達成するために必要な措置」の概要であり、「(1) 土地利用に関する法律などの適切な運用」「(2) 土地利用にかかる環境の保全」「(3) 土地利用にかかる安全性・快適性の確保」「(4) 土地利用の転換の適正化」「(5) 適正な土地利用を通じたまちづくりの推進」「(6) 土地の有効利用の促進」「(7) 計画の推進」として、それぞれまとめてある。「(6) 土地の有効利用の促進」は、農地、森林、水面・河川・水路、道路、宅地、その他と分けて記述している。
 - ・ 15ページ以降は「資料編」であり、「(1) 土地利用区分の定義」「(2) 利用区分および用途区分ごとの土地利用の推移」「(3) 用地単位の推移」を掲載している。「(3) 用地単位の推移」は、農地、森林、水面・河川・水路、道路、宅地、その他と分けて、それぞれの土地利用の推移、推計結果、推計方法を記述している。

(中村会長) あえて総括すれば「1 下野市の概況」「2 土地利用に関する基本構想」「4 本計画を達成するために必要な措置」は総論的であり、「3 利用目的に応じた区分ごとの規模の目標」は、10ページの地域区分や11ページの構想図など、具体的であるように感じる。では、国土利用計画下野市計画について、全体的でも部分的でも自由な意見をお願いする。

(岡田委員) 全体的なことだが、今後は市街化区域を有効に活用していくということで、その基本方針は良いと思う。6ページに「既成市街地の有効活用」とあるが、これは今ある市街化区域を増やさず、現在の市街地を重点的にやっていくという意味でいいのかという確認をしたい。また、「高度利用」について、具体的にどのようなことを想定しているのか伺いたい。

(中村会長) 既成市街地の有効活用の確認と高度利用の中身について、回答をお願いしたい。

(事務局) 現在の市街化区域を高度利用していくことを想定している。高度利用については、市街化区域内の低利用地を都市的に高度利用していくことを想定している。

(岡田委員) いきなり用途地域を変更し、容積率を緩和するということではないと了解した。

(中村会長) 11ページの図を見ると、市街化区域界は東部にもあると見て取れる。他によるしいか。

- (近藤委員) 昨年参加したタウンウォッチングで、職員から「旧石橋町では、工業団地から工場がかなり撤退している」と聞いた。7ページの「宅地」には「工業地も増加しつつあります」とあるが、その説明と矛盾しているのではないか。東部地域などの利便性の高いところは増えているのか、説明をお願いしたい。
- (事務局) 16ページ「資料編」の宅地の中の工業用地の数字については、平成14年から18年までは増加の傾向が見られるが、平成9年から18年までの傾向としては減っている。10年スパンでは減少しているが、7ページの「工業地も増加しつつあります」という記述は、平成14年以降、市域全体では工業団地が増えているということからきているとご理解いただきたい。
- (野田委員) 10ページ「(2)地域別の概要」の「東部地域」の項目の中に、「市街化区域については、・・・その整備手法の見直しを含めた・・・」とあるが、仁良川地区の区画整理事業については、「見直し」と「推進」とでは、どちらにウエイトをおいているのか。
- (篠崎副市長) 旧町時代に引き続き市街化事業の推進は図っていくが、策定中の総合計画等と連動し、見直しも行っていくということである。
- (野田委員) 苦勞が伺える説明であるが、5ページに「人口減少時代を迎えている」とあるように、随所に市街化区域の見直しの文言がちりばめられている一方で、推進にも触れられており、全体的なトーンが統一されていない感じを受ける。見直しに軸足を置かならば、「抜本的な見直し」というように、もう少し踏み込んだ表現にできないのか。
- (篠崎副市長) 旧町時代に着手した市街化区域の整備事業であり、国の認可も受けている。この区域は、土地利用計画は市街化区域であるため、整備していくことも一つの方法である。見直しについては議論して進めていき、この総合計画等と連動させて方向性を示していく予定である。国土利用計画としては、このような表現で行く予定である。
- (中村会長) 見直しの方向を重視しつつ受け止められる。
- (野田委員) 私は、旧国分寺町出身であるが、旧町時代からの事業を引き続き推進していくのではなく、合併して下野市となったからには、市民全体の福利に資するものかどうかを考えて抜本的な見直しを行うべきではないかと考えている。財政的条件なども考慮して、「抜本的な見直し」という文言に訂正すべきであると再度申し上げる。
- (中村会長) ご意見として、受けとめる。
- (金子委員) 13ページ「(6)道路」の項で、「(道路を)バリアフリー化の推進、交通安全施設の整備、道路緑化等、人にやさしい道づくりに努めます」とあ

る。バリアフリー化・安全と緑化は相反してしまうのかもしれないが、自治医大前通りの樹木や、小金井駅東側の道路の樹木などを伐採し、以前より殺風景になったと感じている。緑化ではなく全く逆に、わざわざ殺風景にしているように感じる。

- (中村会長) 樹木については、落葉など、いろいろ住民から苦情や要望があり、難しい問題とも推察される。
- (篠崎副市長) 道路の緑化について、道路には国道、県道、市道とあり、管轄が異なる。自治医大前通りは県道で、県の管理下にある。道路全体として、糞害や落葉についての住民の皆さんからの苦情、要望を受けてなされたことと思われる。また、茂っている葉により街路灯が役目を果たしていない、邪魔であるとの意見が寄せられて、伐採することが多い。緑化と他の諸事情との調整は部分的にはいろいろな問題があり、難しいものがある。
- (金子委員) 小金井駅東側の道路などは樹木の伐採は必要ではないと思う。
- (齋藤部長) 場所によっては、いろいろ問題がある。薬師川沿いの桜についても、地域住民からは間引きしてほしい等との要望があがってきている。成長した樹木については間引き、伐採の要望があがり、担当部署では検討しているところである
- (伊澤剛委員) 全体について、この計画では、現在の市街化区域を集約していき、他の地域は市街化を推進しないということが基本と認識した。旧村落は切り捨ててというように見て取れるので、旧村落についての考え方をお聞きしたい。
- (篠崎副市長) 現行法はご存知だと思うが、旧村落については、法の範囲内で守っていき、現在より縮小しない方針はある。ただ、東部の集落を拡大していくというような方針の国土利用計画は立てられない。
- (伊澤剛委員) 現実問題として、人口減少・高齢化によって子どもがいなくなり、分家住宅を建てて住むことなども進まない実情である。したがって、集落を守るという考え方は成り立っていない。この計画内に、方策として、県道沿いに新しく住宅を作って良いというような考え方を示していないと、旧村落はますます過疎化が進行し、住民がいなくなると予想される。このままでは、新しい住民が入ってこないのだから、集落がなくなってしまうのではないか。もう少し踏み込んだ方策は入れられないのか、お聞きしたい。
- (齋藤部長) 下野市としては、上下水道のことなどを含めて、大局的見方をすることになる。大きな道路沿いは、今後開発可能となることもありうるが、この国土利用計画下野市計画へ、その整備方法を反映することは、現在のところ難しいと考える。条件を満たす要件があれば、将来的にはありう

るかもしれない。

(伊澤剛委員) この計画には盛り込めないということであっても、このような意見が出たということを入れておいていただきたい。

(岡田委員) これは、開発か保全かという対立概念で議論する問題ではないと思う。11ページの図を見ると、市内に平地林がこんなにあることに驚いている。管理も大変だと思うが、このような平地林は、下野市の貴重な資産、下野市民の「宝」である。大事な宝として、将来に残していただきたいと考える。保全はこれからのアイデア次第なのではないか。例えば、全国で里山を保存するのに、地主の許可を得てボランティアが出入りして管理しているような事例も聞く。場所ごとに、いろいろなやり方があると思う。事業としてやっていく方向性が検討できないか。また、若い人が家を買おうとしても、例えば仁良川地区では結局高いからと買わずに、普通の市街地にしたという話も聞く。将来的に、就農意欲がある若い人には古い家でも安く提供するなど考えられないか。最近、集落に残っている古い家も見直されていると聞く。いきなり新しく宅地を造成するのではなくても、今の集落に新しい住民を呼び込むことはできないか。他にどうか。

(中村会長)

(須藤委員) 全体的な印象としては、総花的に書かれていて、捉えどころがないように感じる。13ページ「農地」のところ、「経営規模の拡大と経営の効率化に努めます」とあるが、農業従事者の一人として言わせてもらえば、現状は拡大の方向にはないのではないか。小規模の兼業農家が中心なので、中小農家を守る方策もお願いしたい。私の持論としては、畦畔を取り払って一面にして、複数で水田経営していく方策も議論していただきたい。森林は、環境保全としても重要であるが、現実として荒れている。市内の森林はほとんどが私有地であり、目立って荒れている地域もいくつかある。自然環境の保全と民有地の有効利用をどのように進めていくのか、具体的な方向を示してほしい。市では、森林整備計画を策定して縦覧しているが、具体的な方策はほとんど考えられていないと思う。どのように考えているのか、市の考えを聞きたい。

(齋藤部長) 森林については、市としてもかなり荒れているとの認識を持っている。車が入れない、手入れされていない地域がかなりあるときいている。山の管理や農業のあり方も変わってきた中で、地域の皆さんと一緒にやっていかないと森林整備は難しいと考えている。ボランティアの組織化などいろいろ取り入れながら、森林保全の方向性を生み出していきたいと思っている。皆さんのお知恵を拝借したい。

(石田委員) 全体的に希望的な事項だけを申し上げる。2ページの趣旨について、過去

の計画との関係や新しい動向等が書かれていない点が、読む側にとっては不足である。5ページの現状については、記述があいまいであり、共通の課題として認識しにくい。もっと定量的な記述にしていただきたい。課題については、具体的なアプローチがないと感じる。「すべき」等、なるべく列挙して盛り込んだらいかがか。国土利用の推移については、これまでの用途区分前の面積だけでなく活用実績や活用計画率などの新たな数値で観察し、その上で見直す必要があるのではないか。最後に、市民意識調査や実態調査がきちんと示されていた総合計画と比べると、この計画の内容の出所、根拠がよくわからない。利用者アンケートの結果などを取り込んだ方がよいのではないか。旧国分寺町では、町独自の取り組みとして、住民参加のシステムを確立していたはずで、合併前の各町の良い取り組みは、新市国土利用計画でも取り入れてもらいたい。

(中村会長) まさに貴重な意見を多数頂いた。こんなにいろいろなご意見が出るとは正直思っていなかった。一見矛盾しているような発言でも、相乗効果でまちづくりに発展するような意見が出たと考える。
次に、事務局からその他について説明をお願いする。

3) その他

(事務局) その他について、説明する。1つ目は国土利用計画について、2つめは次回開催予定について、3つめに、答申案の作成についてである。

(中村会長) 順番に進めていく前に確認したい。総合計画のパブリックコメントの状況はどうなっているのか。当初の予定としては、次回に取りまとめたものが出てくる予定のはずである。

(事務局) 10月26日まで受け付けているが、現在2名から、8件の提出があった。次回に取りまとめて報告する。

(中村会長) パブリックコメントの意見を参考にして取りまとめるとして、総合計画についても、ご意見があればお願いしたい。

(近藤委員) 教育問題について、申し上げたい。英語教育やコンピュータ教育については配慮されているが、最近、特に日本語教育の重要性が訴えられている。作文が書けない、説明できない、議論ができないなどである。算数なども含めた「基本的な学力低下が見られる」と現実に問題となっているとよく聞くので、基礎学力の土台について、配慮の視点を入れていただきたい。

(中村会長) パブリックコメントのとりまとめ結果も受けて、次回も宜しく願います。次回の開催は11月14日(水)で、これが最終回となる。3番目の答申案の作成については、市長に答申するというので、参考資料につい

て、事務局から説明をお願いしたい。

- (事務局) 答申書の作成について、今回はパブリックコメントのとりまとめをうけた総合計画への意見を伺うことになるので、時間的に間に合わない場合も想定されるので、答申書の作成方針だけでも決めて頂きたい。参考資料 1~3 として、他市での答申書を参考にお示しした。1 が愛知県田原市、非常にシンプルである。2 が新宮市、3 が越前市で、要望など 2 ページまでである。
- (中村会長) 答申書というのは、一般的に「着実に推進してほしい」旨を伝えるもので、多少ボリュームに差はあっても、内容は共通していると思われる。皆さんはどう思われるか、ご意見を伺いたい。方針として、今回の最終委員会までに、委員の皆さんでまとめていただいても良いし、会長と事務局で案をまとめることも可能である。もう 1 回審議会を開催することもありうるが、いかがだろうか。
- (金子委員) 会長と事務局にお任せする。
- (中村会長) 答申書の内容について、ご意見を伺いたい。
- (石田委員) 希望として、下野市になって初めての総合計画なので、越前市の前置きのよう、今までのプロセスや多様な市民などの意見を吸収したことや、今後の下野市に対する熱い思いなどを盛り込んで、会長と事務局にまとめていただきたい。
- (中村会長) 同感である。これまでのプロセスや多様な意見を反映したということと、熱い思いを込めたいという意見に賛成する。では、お任せいただいてよろしいか。
- (事務局) 会長と相談して案を作成し、今回の 11 月 14 日(水)に案をお示しい。
- (中村会長) 了解した。事務局と相談して、今回の 11 月 14 日(水)に案をお示しする。皆様からのご意見はよろしいか。今回は最終回となる。皆さんにはこれまでご協力いただき、御礼申し上げます。今回は、国土利用計画について下野市の将来を見据えて、いろいろご意見を頂いた。ありがたく思っている。次回も宜しくお願いする。
- (事務局) 今回は、11 月 14 日(水)に開催する。宜しくお願いする。

以上

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長

署名委員

署名委員